

【表とその表に紐付いた索引に対するオブジェクト統計情報を手動で取得する方法】

```
exec dbms_stats.gather_table_stats ( 'スキーマ名', 'テーブル名' )
```

【スキーマ（ユーザー）が所有するすべてのオブジェクト（表、索引）へのオブジェクト統計情報を手動で取得する方法】

```
exec dbms_stats.gather_schema_stats ( 'スキーマ名' )
```

【列（索引付き）に対して、列の統計情報と列ヒストグラム（SIZE AUTO）を取得する方法】

```
exec dbms_stats.gather_table_stats ( owner => 'スキーマ名', tabname => 'テーブル名', method_opt => 'FOR ALL INDEXED COLUMNS' )
```

- ・ 索引（インデックス）に作成したキー値に重複偏り（キー値が特定値に集中）がある場合は、同一キーが少ない時だけ索引を使うようなコーディングを行う

列ヒストグラムが作成されていない場合は、ヒント句で、テーブルへのアクセス方法（インデックスアクセス or テーブルフルアクセス）を指定する